

4月21日(外部卓話)「ふるさと納税について」宇部市政策企画課長 篠原功

4月19日はロータリーの創始者ポール・ハリスの誕生日でした。1868年(明治元年)4月19日、今から148年前アメリカ合衆国・南東部に位置する都市ウィスコンシン州のラシーヌで生まれました。ミルウォーキー、マディソン、グリーンベイ、ケノーシャに次ぐ州、第5の都市です。現在はSCジョーンソン(洗剤製造)の企業城下町です。現在の人口は約78,000人。148年前は、約1万人だったようです。薬剤師の父ジョージ・ハリスと母コーネアン・ブライアンの次男としてこの世に生をうけました。しかしポール・ハリスの両親は大変な浪費家でやがて経済的に破たんしてしまい幼い長男セシルとポールは祖父母の所に預けられることになりました。この時ポール・ハリスは3歳でした。祖父母との生活ニューイングランド地方バーモント州のウォーリング・フォードでの生活こそがポールが後年ロータリーを造る着想の原点だといわれています。少年時代のポール・ハリスは大変な悪がきであったようですが祖父母の献身的な愛情で思いやりのあるたくましい青年に成長していきました。バーモント州のブラック・リバー・アカデミーで大学生活が始まりましたが非行が原因で僅か1年の在籍で退学処分となり、その後バーモント大学に入学しましたがここでも入学後18カ月で学則違反で退学されています。19歳の時、名門のプリンストン大学に入学・卒業。卒業後はシェルドン大理石・会社に就職しましたが、祖父母がポールにかけた夢は弁護士になって欲しいということだったと聞かされ一年発起、アイオワ大学に入学し法学部の学位を取得しました。ポール・ハリスは祖父母を亡くした後、世の中のあらゆることに関心があり5年間アメリカ各地を廻り冒険旅行にでかけたのです。旅行といっても行く先々でアルバイトをしながらの貧乏旅行。いろいろな職を転々としてイギリス船籍の家畜係としてイギリスにも渡航した。大変な苦労の中に将来のロータリーの理念を除々に身に付けていったのでした。5年間の時代もおわりポール・ハリス28歳の時弁護士として開業し定住する所としてポールはシカゴの町を選びました。彼が生まれたラシーヌからもそんなに遠くない。しかしアメリカ有数の大都会で貧困と富とあらゆる人種・宗教の坩堝と化した町。時あたかも大不況の真っ只中。このような町にポールが育ったニューイングランドの素朴な人情、友情と相互扶助の精神をこの都会にもっていきたいと考えたのです。そして1905年ここにロータリーが誕生したのです。ポール・ハリスの誕生日に因んでお話をしました。